



各 位

平成 17 年 5 月 31 日

会 社 名 株式会社富士テクノサービス
代 表 者 名 代表取締役 高井 男
(コード番号 2336)
問 い 合 せ 先
役 職 氏 名 取締役副社長 原田 久仁子
電 話 046-250-1666

通期業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

平成 17 年 2 月 15 日に発表いたしました平成 17 年 3 月期(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、特別損失が発生いたしましたので、その内容について併せてお知らせいたします。

記

1. 第 2 9 期業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日) (単位:千円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	2,100,000	5,000	3,000
今回修正(B)	2,071,806	201	40,044
増減額(B-A)	28,194	4,799	43,044
増減率(%)	1.3	96.0	
前期実績(平成 16 年 3 月期)	1,693,873	65,644	90,006

2. 修正の理由

売上高につきましては、技術者派遣事業において自動車、家電、精密機器等好調業種への派遣増加により 1,409,137 千円(前年比 34.3%増)、デジタルエンジニアリング事業において堅調な受注により 547,356 千円(前年比 15.0%増)となりましたが、ソリューション事業の CAD システム等販売において 3 次元モデリングシステムの販売が新規顧客獲得に苦戦したことにより 115,312 千円(前年比 31.6%減)となったため、若干の下方修正となりました。

経常利益につきましては、技術派遣者の増員に伴う給与他付随費用の労務費の増加、社宅賃借物件の契約数の増加に伴う地代家賃の増加、CAD 設備等教育設備の増強による賃借料・保守料の増加などによる売上原価の増加、そして、平成 16 年 12 月に認証取得した ISO9001 に向けた費用、人材採用に関する費用および賞与引当金の計上による販売費及び一般管理費の増加が生じたため、下方修正となりました。

当期純利益につきましては、上記の売上原価と販売費及び一般管理費の増加の他、前期損益修正損などの特別損失の発生のため、下方修正となりました。

3. 特別損失の内容

(1) 前期に過大に計上した売上高に関する修正	26,129 千円
(2) 前期に属する当期計上の賞与手当に関する修正	17,720 千円
(3) 前期に償却すべきであった長期前払費用(借入金保証料)の償却	1,825 千円
(4) 前期以前に費用処理すべきであった入会金(保養所施設入会金)の償却	1,500 千円
(5) ゴルフ会員権に対する貸倒引当金繰入額	2,475 千円
(6) ゴルフ会員権の評価損	750 千円

以上